

総 説

## HIV 感染と宿主因子—エイズ制圧にむけて

梁 明 秀, 宮 川 敬

横浜市立大学大学院医学研究科 分子生体防御学

**要 旨** : HIV 複製サイクルの後期で起こるウイルス粒子形成は, HIV のコードする Gag 構造タンパク質によって主に推進される. Gag タンパク質は Pr55前駆体として細胞質で合成され, さまざまなプロセスを経て細胞膜上で多量体化, 粒子形成された後に出芽する. 近年, これらの一連の過程に寄与する宿主因子が多数同定され, その分子メカニズムが明らかになりつつある. これらの成果はウイルス—宿主相互作用の分子機構の解明のみならず, 宿主因子を標的とした新しい抗 AIDS 薬の開発に道を開くものである. 本稿では HIV 粒子形成を中心として宿主—HIV タンパク質相互作用の細胞内ダイナミズムとその分子メカニズムについて最近の話題を中心に概説する.